

戸田康之さん『トイレ』（5月23日配信）

こんにちは！戸田です。よろしく。
今日のテーマは、家でのトイレの方法です。

私は5人家族で、私、妻、長男、次男、長女といます。妻もろう者で、子どもたちは3人とも聴者、つまりコーダです。親がろう者ですから、家の中はろう文化の暮らしです。トイレのやり方について、他のろう者の家庭がどこもそうだとということではなく、我が家の方法ですが、トイレの時にドアが開けっ放しなんです。閉めません。大だろうと小だろうと常に開けっ放し。見られたところで家族なので気にしません。子どもが生まれる前、結婚した時からずっとそのやり方でやってきました。わざわざドアを開けて中に人がいないかどうかを確認するのは面倒ですよ。ドアを常に開けておけば人のいるいないが見て分かるから楽なんです。

結婚してからその方法をとるようになり、子どもが生まれてからもずっとそうです。子どもたちも同様に、用を足す間トイレのドアを開けっ放しにしています。家族全員、娘もそうしています。男女も関係ありません。家ではそうしてきました。

子どもたちも大きくなり、長男は高1、次男が中2、娘が小6になりましたが、トイレの時は相変わらず開けっ放しです。先日、夕食の時に、トイレの話になったことがありました。うちはトイレの時開けっ放しだよという話をした時に、子どもたちが「どこの家もそうなんですよ」と言うのです。いやいや、他の聴者の家はトイレのドアは閉めてると思うよ、開けっ放しにしているのはうちくらいじゃないかと言うと、子どもたちはあっけにとられ「みんな閉めてるの?」と言います。聴者の家はトイレのドアは閉めるのが普通だと思うと私が言うと、子どもたちは「なんで閉めるの?家族なんだから見られてもいいじゃん」とまで言うので、聴者はたいてい閉めるもんなんだと思うよという話に子どもたちはとても驚いていました。自分の家が開けっ放しだから、友だちの家もどこもトイレは開けっ放しにしているのだと思い込んでいたんです。そうじゃないと思うよと説明をしても怪訝な顔をしていたので、友だちに聞いてみなと言いました。実際、友だちの家はみんな閉めているそうで、改めて、トイレの時にドアを開けっ放しにしているのはうちだけだよと話しました。家でのやり方が他の家でも同じなんだと思い込んでいたのでおかしかったです。

しかし逆に心配になり、「家でトイレ開けっ放しなのはいいけど、まさか学校でも開けっ放しにしてるの?」と娘にも聞いてみました。娘は「そんなわけないじゃん!閉めてるよ」というので、ほっとしました。家の中と外でトイレのやり方を使い分けられているようで、本当に安心しました。